

# 令和8年度 履修証明プログラム

令和8年1月末日現在

明浄正直コース									
(目的) 神道を理解する									
区分	テーマ・科目の内容	講習/授業	科目名	担当教員	開講学期	単位数	時間数	時間割	
◎	神社神道の本質	授業	神道概論Ⅰ	高野	春	2	21	水Ⅱ	
		授業	神道概論Ⅱ	新田(均)	秋	2	21	水Ⅱ	
	神道の歴史と特質	授業	神道史Ⅰ	新田(恵)	春	2	21	木Ⅲ	
		授業	神道史Ⅱ	新田(恵)	秋	2	21	木Ⅲ	
	古代朝廷・神宮のまつり	授業	祭祀概論Ⅰ	田井	春	2	21	月Ⅳ	
		授業	祭祀概論Ⅱ	田井	秋	2	21	月Ⅲ	
	神道の価値観	授業	神道神学Ⅰ	松本	春	2	21	木Ⅰ	
		授業	神道神学Ⅱ	松本	秋	2	21	木Ⅰ	
	皇室の基礎知識	授業	皇室概説	塩川	秋	2	21	金Ⅱ	
	明治以降の神道史	授業	近代神道史	高野	春	2	21	月Ⅲ	

- ・◎印の科目は必ず履修してください。
- ・時間数の合計が60時間以上となるよう科目を選択し、履修してください。

日本史探究コース									
(目的) 歴史を学び直す									
区分	テーマ・科目の内容	講習/授業	科目名	担当教員	開講学期	単位数	時間数	時間割	
□	日本の古代史	授業	国史概説A《古代》	遠藤(慶)	秋	2	21	火Ⅰ	
□	日本の中世史	授業	国史概説B《中世》	岡野(友)	春	2	21	木Ⅰ	
□	日本の近世史	授業	国史概説C《近世》	谷戸	秋	2	21	火Ⅰ	
□	日本の近代史	授業	国史概説D《近現代》	谷口	春	2	21	月Ⅳ	
□	アジアの歴史	授業	東洋史概説Ⅰ	堀内	春	2	21	金Ⅱ	
		授業	東洋史概説Ⅱ	堀内	秋	2	21	金Ⅴ	
	日本史学の歴史	授業	日本史学史	遠藤(慶)	秋	2	21	金Ⅳ	
	古文書入門	授業	古文書学Ⅰ	岡野(友)	春	2	21	木Ⅱ	
		授業	古文書学Ⅱ	岡野(友)	秋	2	21	木Ⅱ	
	考古学入門	授業	考古学Ⅰ	竹田(恵)	春	2	21	水Ⅳ	
		授業	考古学Ⅱ	竹田(恵)	秋	2	21	水Ⅳ	
	日本美術史	授業	美術史Ⅰ	岡野(智)	春	2	21	火Ⅱ	
		授業	美術史Ⅱ	岡野(智)	秋	2	21	火Ⅱ	

- ・□印のうち、どれか1つは履修してください。
- ・時間数の合計が60時間以上となるよう科目を選択し、履修してください。

心理学コース									
(目的) 日常生活に役立つ心理学を学ぶ									
区分	テーマ・科目の内容	講習/授業	科目名	担当教員	開講学期	単位数	時間数	時間割	
○	心理学の基本を広く学ぶ	授業	心理学概論Ⅰ	芳賀	春	2	21	木Ⅱ	
		授業	心理学概論Ⅱ	芳賀	秋	2	21	木Ⅲ	
○	心の健康と支援について学ぶ	授業	臨床心理学概論	高沢	春	2	21	火Ⅱ	
○	心と行動の発達について学ぶ	授業	発達心理学	栗野	春	2	21	火Ⅲ	
	自己理解と対人関係に役立てる	授業	感情・人格心理学	高沢	秋	2	21	火Ⅱ	
		授業	社会・集団・家族心理学	中山(真)	春	2	21	火Ⅱ	
		授業	産業・組織心理学	中山(真)	秋	2	21	金Ⅱ	

- ・○がついているテーマを必ずひとつ選択し、それ以外のテーマから1科目以上を受講してください。
- ・時間数の合計が60時間以上となるよう科目を選択し、履修してください。

文化と地域コミュニケーションコース									
(目的) さまざまな文化とコミュニケーションについて学ぶ									
区分	テーマ・科目の内容	講習/授業	科目名 【 】内はクラス名	担当教員	開講学期	単位数	時間数	時間割	
	日本語の特色を知ろう	授業	日本語コミュニケーション概論Ⅰ	濱畑	秋	2	21	金Ⅱ	
		授業	日本語コミュニケーション概論Ⅱ	濱畑	春	2	21	木Ⅲ	
	文化の違いを知ろう	授業	異文化間コミュニケーションⅠ【a】	ディチェロ	春	2	21	月Ⅳ/金Ⅱ	
		授業	Japanese Culture and History	C.メイヨー	春	2	21	月Ⅰ	
		授業	海外事情Ⅰ	C.メイヨー	春	2	21	月Ⅲ	
		授業	海外事情Ⅱ	C.メイヨー	秋	2	21	月Ⅰ	

- ・時間数の合計が60時間以上となるよう科目を選択し、履修してください。

教育基礎コース									
(目的) 基礎的な教育知識について学ぶ									
区分	テーマ・科目の内容	講習/授業	科目名	【 】内はクラス名	担当教員	開講学期	単位数	時間数	時間割
◎	教育の歴史や思想、制度等の教育学の基礎を学ぶ	授業	教育学概論【a】		野々垣	春	2	21	木Ⅳ
	様々な教育理論を学び教育の意義を理解する	授業	教育哲学【a】		野々垣	秋	2	21	月Ⅰ
◎	教育現場で用いられている心理学の知識を理解する	授業	教育・学校心理学【a】		渡邊(賢)	秋	2	21	火Ⅰ
	教育という営みを歴史的視点から捉え返して理解する	授業	教育史【a】		井上(兼)	秋	2	21	月Ⅱ
	通常の学校・学級における特別支援教育の基礎を学ぶ	授業	特別支援教育の基礎		大杉	春	2	21	金Ⅳ
	教職の意義、役割、職務内容、服務について理解する	授業	教職論【a】		野々垣	秋	2	21	金Ⅳ
	社会の視点から教育を考える	授業	教育社会学		市田	秋	2	21	木Ⅳ

- ・◎印の科目は必ず履修してください。
- ・時間数の合計が60時間以上となるよう科目を選択し、履修してください。

保育アップデートコース									
(目的) 保育や育児に役立つ、最新の保育知識や技術について学ぶ									
区分	テーマ・科目の内容	講習/授業	科目名		担当教員	開講学期	単位数	時間数	時間割
	乳幼児の心の発達を学び、保育における子ども理解の方法を知る	授業	子どもの心理学		吉田(直)	春	2	21	火Ⅲ
	乳幼児の育児に関わる心の問題と、家庭支援の働きかけについて学ぶ	授業	子ども家庭支援の心理学		吉田(直)	秋	2	21	火Ⅲ
	子どもの健康状態、疾病の特徴と処置・予防、事故の特徴と対応を学ぶ	授業	子どもの保健		小川	春	2	21	木Ⅰ/木Ⅳ
	3歳未満の時期の心身の成長発達と課題を把握する	授業	乳児保育Ⅰ		小川	春	2	21	金Ⅲ
	幼児の言語獲得の段階を知り、絵本などを活用した言語発達を促す方法を学ぶ	授業	幼児と言葉		中條	春	2	21	月Ⅱ
	コードネームを活用した伴奏法を中心に、様々な表現活動を学ぶ	授業	子どもの表現技術		高橋 他	春	2	21	火Ⅰ/火Ⅳ

- ・時間数の合計が60時間以上となるよう科目を選択し、履修してください。

地域と福祉コース									
(目的) 現代日本における地域の実情と福祉施策を理解する									
区分	テーマ・科目の内容	講習/授業	科目名		担当教員	開講学期	単位数	時間数	時間割
○	地域社会の課題	授業	地域社会論		藤井	秋	2	21	火Ⅲ
○	現代と福祉	授業	社会福祉の原理と政策		中野	秋	4	42	火ⅠⅡ
○	地域における福祉課題の理解	授業	地域福祉と包括的支援体制		大井	秋	4	42	火ⅢⅣ
	児童福祉サービスの理解	授業	児童・家庭福祉		土谷	春	2	21	水Ⅲ
	障害者福祉サービスの理解	授業	障害者福祉		榎本	秋	2	21	金Ⅲ
	高齢者福祉サービスの理解	授業	高齢者福祉		鶴沼	秋	2	21	金Ⅱ

- ・○印のうち、どれか1つを履修することが望ましい。
- ・時間数の合計が60時間以上となるよう科目を選択し、履修してください。

現日スペシャルコース・人源輝業プログラム									
(目的) 日本の精神・伝統を理解し、現代の課題に取り組める能力を修得する									
区分	テーマ・科目の内容	講習/授業	科目名		担当教員	開講学期	単位数	時間数	時間割
○	国家としてのあり方の理解	授業	日本国家論		竹田(恒)	秋	2	21	火Ⅱ
○	日本文化の理解	授業	日本文化論		橋本(雅)	秋	2	21	木Ⅰ
	地域活性化の意義と方法の理解	授業	地域再生論		岸川(政)	春	2	21	水Ⅳ
	組織や地域等の運用・手法の理解	授業	マネジメント論		岸川(晃)	春	2	21	水Ⅲ
	政策立案・実施の原理と手法の理解	授業	公共政策論		岸川(政)	秋	2	21	水Ⅳ
	DX政策の動向と課題の理解	授業	イノベーション論		高浦	秋	2	21	金Ⅲ

- ・○印のうち、どれか1つを履修することが望ましい。
- ・時間数の合計が60時間以上となるよう科目を選択し、履修してください。

伊勢志摩課題解決実践 ※令和8年度新設、秋学期より開講。									
(目的) 地域課題解決に取り組む人材を育成する実践的学修プログラム									
区分	テーマ・科目の内容	講習/授業	科目名		担当教員	開講学期	単位数	時間数	時間割
◎	事例と理論を学び、課題観を整理する	講習	伊勢志摩課題解決基礎		オムニバス	秋	—	12	※
◎	多角的に議論し、実践を前に進める	講習	伊勢志摩課題解決実践演習		池山	春	—	14	※
◎	現場を歩き、解決への解を自ら導き出す	講習	伊勢志摩課題解決実習		池山	春 秋	—	32	◆
◎	学びの成果を言語化し、伝え広げる	講習	伊勢志摩課題解決展開		池山	秋	—	8	※

- ・◎印の科目をすべて受講してください。
- ・令和8年度は「伊勢課題解決基礎」のみ開講し、その他の科目は令和9年度より開講します。

※8時30分～20時30分、開講曜日については受講者と調整を行う。

◆現地実習となるため、開講日時については受講者と調整を行う。